

CRANK DAMPER PULLEY KIT

製品説明書



取付けは必ず専門業者に依頼して下さい。
本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も車の中に置いて活用して下さい。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	CRANK DAMPER PULLEY KIT
用 途	自動車専用部品
コードNo.	2499-RN003
メーカー車種	日産 スカイライン GT-R (BNR34・BCNR33)
エンジン型式	RB26DET
年 式	1993年08月～2002年08月
備 考	本製品には、パワーステアリングプーリー側用と、オルタネータープーリー側用の4Vベルトは含まれておりません。別途、1160mmと830mmの4Vベルトを用意してください。 純正のクーリングファンを装着した状態での取付けはできませんので、市販の電動ファン(Stant 55114)に付け替えてください。

製品説明書品番 E04151-N48020-00

2004年3月12日発行

Ver. 3-2.01

(禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス

目次

	ページ
目次	1
用語の説明	1
改訂の記録	1
はじめに	2
安全上の注意	2
パーツリスト	4
取付け方法	5
取付け後の確認	8
維持・管理	8
異常・故障時の対応	8
アフターサービスについて	9
譲渡等の際の注意	9
お問い合わせ一覧	9

用語の説明

専門業者	: お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo.	: H K S 製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル	: お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
点検・整備	: 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検	: 自動車を運行する人が、一日一回運行前に行う点検です。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従って作業を行ってください。
ノーマル車両	: 車両購入時の状態。 アフタパーツを取付けていない車両。 事故を起こしたことの無い車両。
メーカー	: 車両の製造メーカー。
誤使用	: 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
P # 1 × # 2	: P # 1 はパーツリストに記載されているパーツの番号。 × # 2 は使用数量 例 (P 1 0 × 2) ・ ・ パーツNo. 1 0 を 2 個使用する。

改訂の記録

改訂No.	日付	記載変更内容
3-2.01	2004/03	初版

はじめに

この度は、HKS CRANK DAMPER PULLEY KIT をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼して下さい。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全に御使用下さい。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行ってください。

製品の特徴

R B 2 6 D E T Tの純正エンジンは、8 0 0 0回転近くになるとクランクシャフトの擦り振動や曲げ振動が大きくなります。本製品を装着することによって擦り振動による、エンジンの振動、メタルの強アタリなどのトラブル発生を防止できます。

本書・本製品について

本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。

お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品はノーマル車両及び、H K S 製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。

上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。

本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。

This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country .

本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。

消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、専門業者又はお客様相談室（本書最終ページに記載してあります）にお問い合わせください。

部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。

コードNo. は、本書パーツリストに記載されています。

取付け終了後、本書の“アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名 記入欄に必要事項を必ず記入してください。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。



警告 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合



注意 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）
拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害（例えば車両の破損及び焼損））

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告

爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。

- ・換気のよい場所で作業してください。
- ・可燃物を取扱う際は、火気に充分注意してください。

電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。

- ・バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外してから作業を行ってください。
- ・コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。

車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行ってください。

- ・所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つける恐れがあります。
- ・リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちてケガをしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。

注意

本製品の誤使用は、絶対に行わないでください。

- ・誤使用すると、最悪の場合エンジン破損の恐れがあります。本来の性能を損なう恐れがあります。

作業を始める前にエンジンルーム内の各部分の温度が約40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。

- ・火傷をする恐れがあります。

異物混入によるエンジン破損を防止するため、次のことを守ってください。

- ・ホース等に異物が入らないようにウエス等をかけておいてください。
- ・抜き取ったエンジンオイルは再使用しないでください。

本セットの構成部品をパーツリストに記載してあります。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。

ノーマルパーツの取付け・取外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。

整備要領書がお手元にはない場合は、メーカーにてご購入ください。

本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。

取付け不良や故障の原因になります。

ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。

必要以上に締付けを行なうと、ボルトのねじ部が破損します。

取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。

又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。

パーツリスト

連番	コードNo.	品名	数量	備考
1		ATI クランク ダンパー	1	プーリーボルト×3、 ダンパーボルト×6付属
2		クランク プーリー	1	
3		タイミング マーカー	1	
4		ウォーターポンプ プーリー	1	
5		オルタネーター プーリー	1	
6		パワーステアリング プーリー スペーサー	1	
7		エアコンブラケット移動用ステー	2	
8		六角穴付ボルト(M10×1.5 L=20mm)	4	
9		六角穴付ボルト(M10×1.5 L=40mm)	4	
10		ワッシャー(M10)	8	

本品にはパワーステアリングプーリー側用と、オルタネータープーリー側用の4Vベルトは含まれておりません。別途、1160mmと830mmの4Vベルトを用意してください。

補修部品

連番	コードNo.	品名	数量	備考
1	2499-RA001	クランクダンパーオーバーホールキット	1	Oリング8個
2	2499-RA002	クランクダンパーボルトキット	1	プーリーボルト3本 ダンパーボルト8本

取付け方法

取付け作業は、必ず専門業者に依頼してください。

本製品は、純正部品への取付けを目的として設計されております。本製品を取付ける際、各ボルト類の締め付けトルクは、メーカー発行の整備要領書の指示に従って取付けてください。整備要領書がお手元がない場合は、メーカーにてご購入ください。

ダンパーは分解しないでください。組付けに際しては、完成品のダンパーを組付けてください。

組み立て済みのダンパーは、バランス取り済みですので、バランス取りを行わないでください。

本製品は各パーツごとに、バランスをとってありますので、各パーツへのドリルでの穴あけや、クランクシャフトへ取付けのバランス取りは行わないでください。

また、ダンパー内のウエイトは接着されていないため、エンジン始動時（アイドリング時）には回転の中心にきていません。エンジン回転数が2000rpmになったところで、回転の中心と一致します。

競技などでエンジンを高回転まで回す時には、ベルトの反転やパワーステアリングポンプ破損の恐れがありますので、パワーステアリングプーリー、エアコンプーリーのベルトは外してください。

1. ノーマルパーツ取外し

ノーマルパーツの取外しは、メーカー発行の整備要領書に従って作業を行ってください。

2. フロントカバーの加工

図1斜線部のフロントカバー角が干渉するため、削り取ってください。

3. クランクシャフトの点検

クランクシャフト側のダンパー取付け部を調べ、小さな傷やご自分で旋盤にかけた時の旋盤目などがありましたら、研磨してください。また、キーに不具合がある場合は、新品と交換してください。

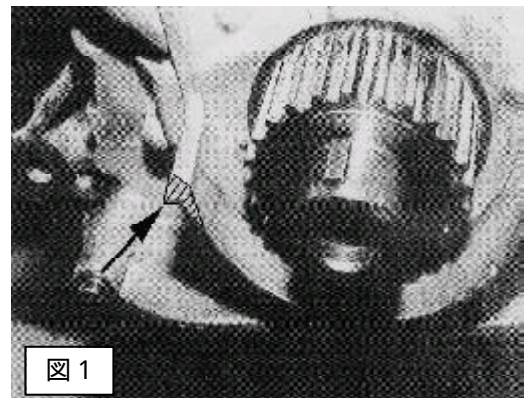


図 1

4. ハブの取付け

ハブのみをクランクシャフトのキーに合わせて取付けます。ハブを取付ける際に、焼き付き防止の為クランクシャフトのハブ挿入部に潤滑剤を塗布してください。

（推奨潤滑剤：SUMICO モリペースト500）

本製品のハブは、RB26DET純正クランクシャフトおよび、HKSクランクシャフトに対応するように作られています。これら以外のクランクシャフトに取付けを行う場合は、ハブの内径をボアゲージで、また、クランクシャフト側をマイクロメーターにて測定を行い、下記の締め代になるよう研磨してください。

径：25～32mm・・・締め代：0.023～0.030mm

径：32～35mm・・・締め代：0.020～0.028mm

径：35～41mm・・・締め代：0.018～0.023mm

5. クランクダンパーの組付け

- 5 - 1 . ダンパーの角度表示 330° 付近がハブ側のクランクシャフトのキー溝位置にくるように、ボルトの穴位置を合わせて取付けてください。(図2)
 ダンパーの OUTER と INNER の穴がずれている場合は、棒などで力をかけ、穴位置を合わせてください。(次ページ図3)
- 5 - 2 . 3本のプーリーボルトをダンパー脱落防止のためにダンパー前面の皿穴以外の3つの穴に入れ仮止めします。この時、ダンパーとハブをきつく締め過ぎないでください。
- 5 - 3 . 6本のダンパーボルトに、ロックタイト 242 を塗布し、締め付けトルク 22 N・m で取付けてください。
- 5 - 4 . クランクプーリーを取付けない場合は、プーリーボルトを本締めしてください。締め付けトルクは、40 N・m です。
 3本のプーリーボルトは、プーリーを取付けない場合でも指定のトルクをかけ、締め付けてください。

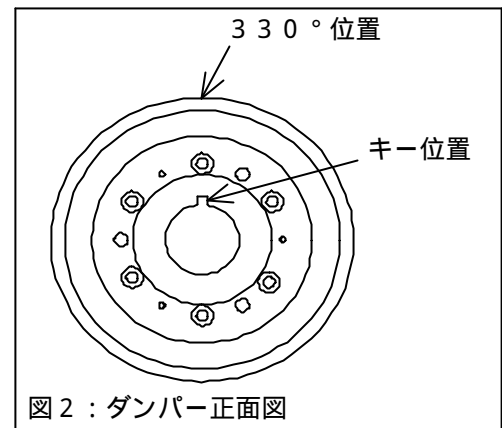


図2：ダンパー正面図

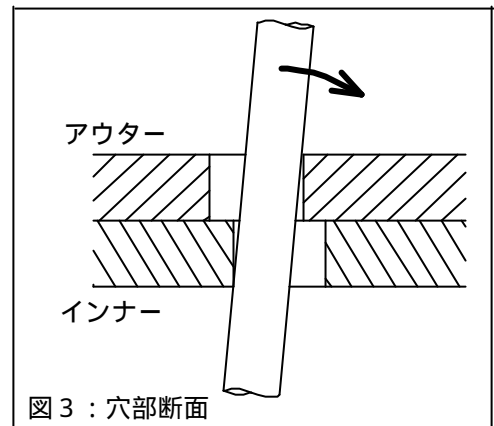


図3：穴部断面

⚠ 注意

6本のダンパーボルトには必ずロックタイト 242 を塗布して締め付けてください。また、各ボルトは、5回と10回の走行後、再び指定の締め付けトルクで締め付け、締まっているか確認してください。

6. クランクプーリーの取付け

- 5 - 2にて仮止めしておいたプーリーボルトを取外し、クランクプーリーを取付け、40 N・mのトルクでプーリーボルトを締め付けてください。

7. その他プーリーの取付け

ウォーターポンププーリーとオルタネータープーリーをメーカー発行の整備要領書を参考に取付けてください。

オルタネータープーリーが、オルタネーターカバーと干渉する場合には、オルタネーターカバーを削ってください。

9. エアコンの移動

エアコン本体を、付属のステーを用いてブラケットごと車体前方に移動させてください。(図4)

また、エアコン移動の際には、ガスパイプのステーを外しガスパイプの曲げをエアコンポンプの移動に支障の無いよう伸ばしてください。(図5)



図4：上より見た左フロント



図5：車体下より見た左フロント

10. パワーステアリングプーリースペーサーの取付け

パワーステアリングプーリーを一度取外し、付属のスペーサーを取付けてください。(図6)

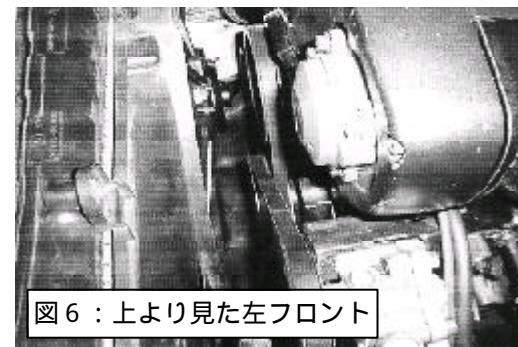


図6：上より見た左フロント

11. 電動ファンの取付け

本製品の使用に際して、純正の冷却ファンの使用ができないため、市販の電動ファンをご用意いただき交換してください。交換の際には、電動ファンに付属されている説明書をよく読まれた上で正しく取付けてください。(図7)

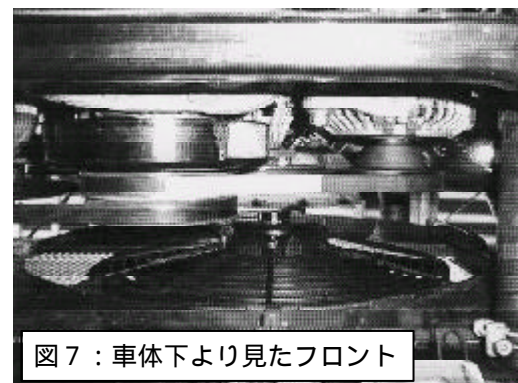


図7：車体下より見たフロント

取付け後の確認

エンジン始動前の確認

確 認 項 目	確 認
パイプ・ホースなどの配管がまちがっていないか。	
ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
エンジンオイルレベルゲージのH (F) ~ L の間にあるか。	
ボルト・ナット類の締め忘れがないか。	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	

エンジン始動後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。(アイドル回転)

確 認 項 目	確 認
オイルもれがないか。	
各部からエアもれがないか。	
軽く空吹きを2、3度行ないエア・オイル・冷却水がもれていないか。	
部品による干渉音がないか。	
エンジンを停止し、ネジ等がゆるんでいないか(再度取付け部の締付け確認)。	
エンジンオイルレベルゲージのH (F) ~ L の間にあるか。	

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。

ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

異常・故障時の対応

警告

もれ(オイル・水)が生じている場合には絶対にエンジンを始動しないでください。

- ・専門業者にもれがどこからどのように生じているか状況を告げ、修理を依頼してください。
- ・オイルもれがひどい場合は、二次災害を防ぐため問い合わせの際に応急処置の方法を聞いて対応してください。
- ・必ず専門業者の指示に従ってください。

最悪の場合、オイルもれにより車両火災が起きる可能性があります。

異常や故障が発生した場合、修理依頼先への自走での移動は絶対に行わないでください。

故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず業者に依頼してください。

走行中、異音、異臭、振動等の異変があった場合にはサービスマニュアルに従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお客様相談室にご相談ください。

取付け業者名	
電話番号	
担当者名	
お客様氏名	

譲渡等の際の注意

本製品をゆずられるときは、必ず次のオーナーのために製品説明書を一緒にお渡してください。

本製品をお車より取外す際には、必ず業者に依頼してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県 富士宮市 北山7181
<http://www.hks-power.co.jp/>

所在地、電話番号は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

(禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス